



ご存じですか？「熊本市ハザードマップ」

心配していた台風11号も特に大きな爪痕を残すことなく、通り過ぎました。あとは他府県に被害が出ないことを祈るばかりです。さて、熊本市のホームページにハザードマップがあることはご存じでしょうか？ハザードマップを使うことで、身の回りでどんな災害が起こり得るのか、調べることができます。



熊本市のハザードマップは熊本市及び近隣地域の地図が示され、「洪水」「高潮」「津波」「土砂災害」のアイコンをクリックすると、被害が及ぶ範囲や場所を示してくれます。幸い本校区は、被害予想が少ないのですが、藻器堀川の一部で洪水の恐れがあることが示されています。このハザードマップを活用して、職場やお子さんの習い事の道のりでの危険性など予め調べておくと便利です。

<https://hazard.kumamoto-city.jp/>

台風一過の通学路点検

台風が過ぎ去ったあとは、全職員で通学路の点検作業を行いました。台風の被害が少なかったとはいえ、看板や木の枝などの落下物や、老朽化している壁などの危険性があるかもしれません。そこで、職員を小グループに分けて、通学路の点検を行いました。点検の結果、特に危険な箇所は認められず、安心したところです。

災害以外でも、熊本県には通学路の対策必要箇所1,742箇所もあります。これは、昨年6月千葉県八街市において下校中の児童の列にトラックが衝突し、5名が死傷する痛ましい事故が発生したことを受け、文部科学省が市町村立小学校における通学路の合同点検について依頼し、その結果わかった数字です。子供たちの安全な通学路の確保は喫緊の課題と言えます。今回の通学路点検や保護者の方々の気づき・ご意見を踏まえて、もう一度安全な通学路の確保に努めていきたいと思っております。

